

産業クラスター計画



Make the Front Runner

関西フロンティアプロジェクト

Neo Cluster

平成19年1月29日
経済産業省 近畿経済産業局
次世代産業課

本日お話する内容...

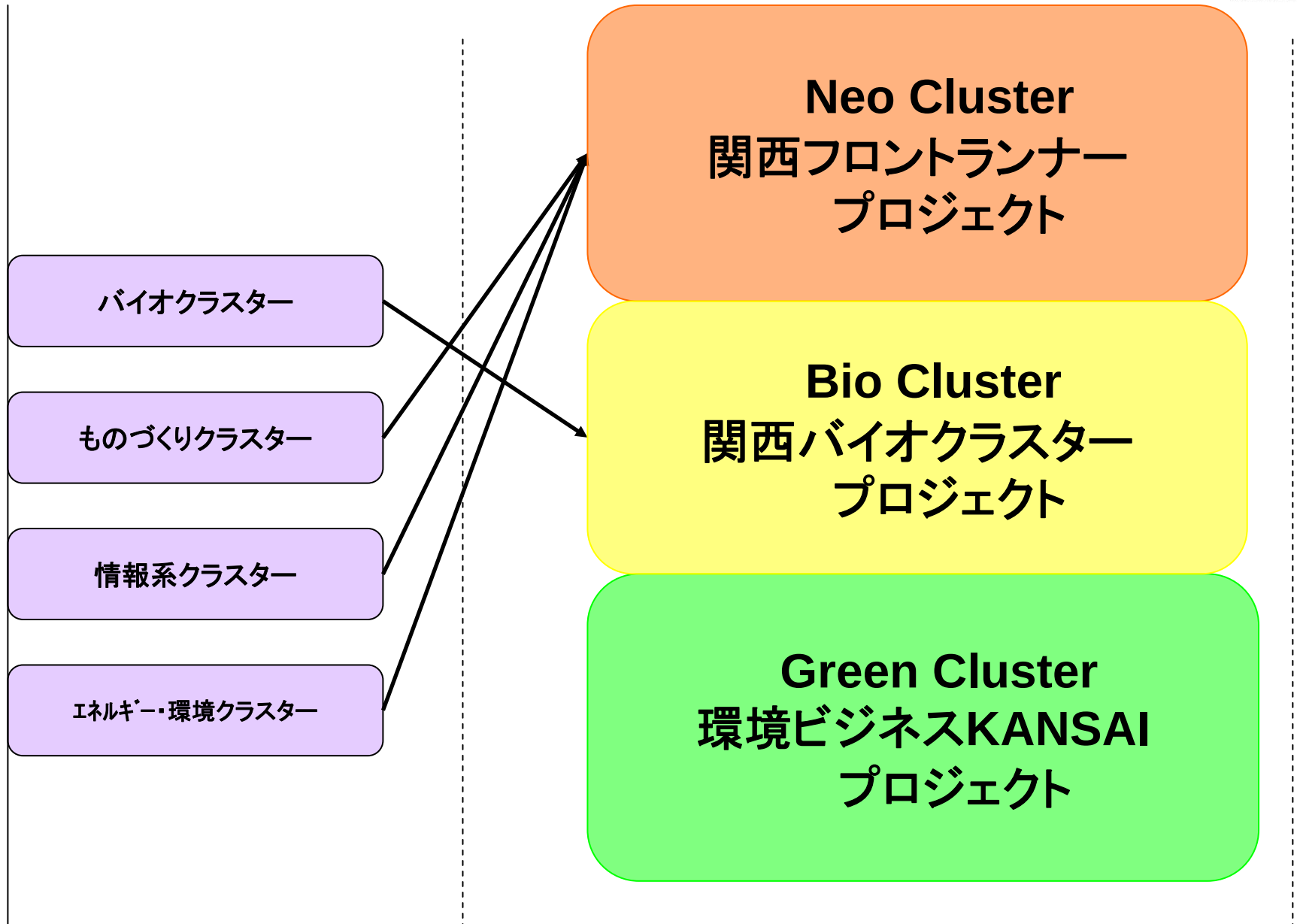


Make the Front Runner

- 関西の産業クラスター計画
- 関西フロンランナープロジェクト Neo cluster
- 情報家電ビジネスパートナーズ(DCP)

- 平成13年度より(第Ⅰ期)、「バイオ分野」、「ものづくり分野」、「情報系分野」、「エネルギー・環境分野」の4つのクラスタープロジェクトを実施。
- ネットワーク形成、研究開発の進展等で一定の成果はあったものの、以下の3つの課題があった。
 1. 融合領域(ロボット、情報家電等)の振興が不十分
 2. クラスターの核となる分野が不明確
 3. 事業化支援事業・体制の充実
- そのため、平成18年度(第Ⅱ期)より、上記4プロジェクトを再編・統合し、「関西フロントランナープロジェクト」、「関西バイオクラスタープロジェクト」、「環境ビジネスKANSAIプロジェクト」の3プロジェクトとした。
- また、各々のプロジェクトで、クラスター形成の核となる重点テーマを策定するとともに、事業化をメインの目標として実施していくこととしている。

第Ⅱ期の関西の産業クラスター計画



重点テーマ選定の基準

- ・近畿地域に研究開発のポテンシャルが存在。
- ・今後5年以内に実用化の目処。
- ・クラスター活動の萌芽(関連する企業群が明確、リーダーが存在、活動エリアが明確、具体的な活動がスタート 等)がある。

【重点テーマ1】 未来型情報家電・ロボット

次世代ロボット(サービスロボット、レスキュー・福祉ロボット、次世代産業用ロボット)
ウェアラブルコンピュータ、アプライアンス、家庭内通信環境

【重点テーマ2】 高機能部材分野

自然順応型ネオマテリアル、次世代航空機部品、半導体デバイス
多機能センサー、燃料電池・関連部材

【重点テーマ3】 高効率エネルギー機器・装置

モバイル内蔵型燃料電池、太陽電池関連機器、熱回収・利用機器システム

ネオクラスター推進共同体

事務局：(財)関西情報・産業活性化センター

- ・事務局
- ・クラスターマネージャー(4名)

コーディネータ
(約20名委嘱)

学識者ネットワーク
(300名(予定))

会員企業

参加企業：619社
(11月30日現在)

中小・中堅企業：528社

大企業：91社

近畿経済産業局

連携

拠点クラスター

(財)大阪市都市型産業振興センター
(株)けいはんな
NPO法人ワット神戸
(財)国際デザイン交流協会
(財)東大阪市中小企業振興会
(財)わかやま産業振興財団
【電源地域】(財)ふくい産業支援センター・(財)若狭湾エネルギー研究センター
【大学型】学校法人立命館

連携

知的クラスター

・京都ナノテククラスター
・けいはんなヒューマン・エルキューブクラスター

連携

(独)中小企業基盤整備機構(独)
新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
自治体
インキュベータ
産業支援機関

推進組織と拠点組織

Neo Cluster 事務局:(財)関西情報・産業活性化センター

【地域】近畿地域全域

【重点テーマ】未来型情報家電・ロボット、高度機能部材、高効率エネルギー機器・装置

【企業】615社

RooBO

事務局:(財)大阪市都市型産業振興センター

【地域】大阪市

【主な分野】次世代ロボット産業分野

【企業】約224社

KITコミュニティ

事務局:(株)けいはんな

【主な対象地域】関西文化学術研究都市

【主な分野】情報家電分野

【企業】182社

(財)東大阪市中小企業振興会

【主な対象地域】東大阪市

【主な分野】基盤的技術産業

【企業】約118社

NPO法人ワット神戸

【主な対象地域】兵庫県

【主な分野】新エネルギー分野

【企業】82社

ストーム・コンソーシアム

事務局:(財)国際デザイン交流協会

【主な機能】商品化のためのデザイン

【企業】74社

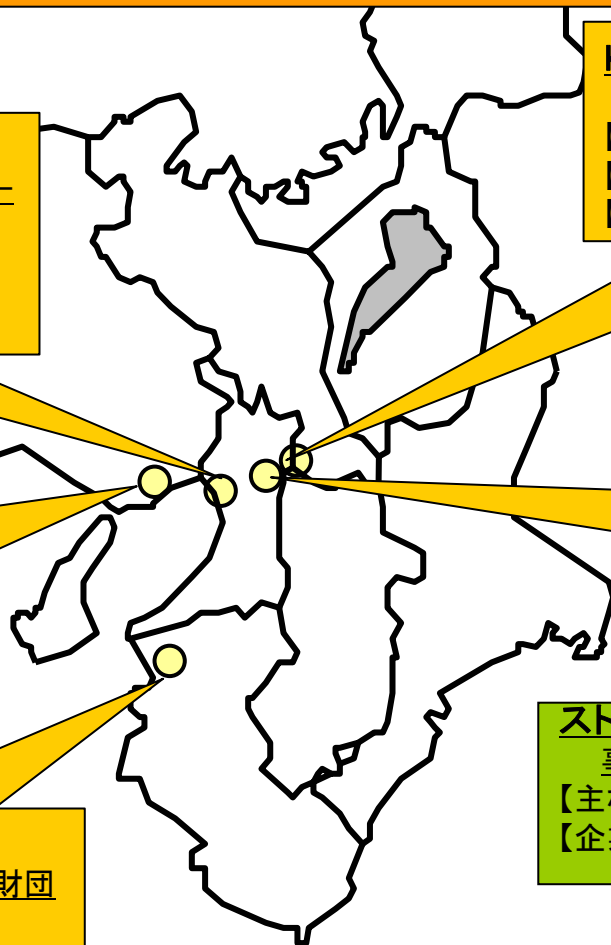
EIS-Cluster

事務局:(財)わかやま産業振興財団

【主な対象地域】和歌山県

【主な分野】情報サービス分野

【企業】約26社



- 産学官のネットワークを活用し、ベンチャー精神を持った企業（ベンチャー企業、第2創業・新事業展開を目指す中小・中堅企業）を支援できる体制を構築。それによって、多様で厚みを持つ産業集積である関西地域に多くのベンチャー精神を持った企業が存在し、イノベーションが不断に創出されることを目指す。（中長期）
- クラスター計画も6年目を迎え、目に見える成果が厳しく求められているところ。経済の実態にインパクトを与える成果（売れる新商品の開発、デファクトスタンダードの獲得、売上・収益の発生、ベンチャー企業の創出、IPOの達成、雇用の増加等）を創出する。（短期）

1. ネットワークの高質化

第Ⅰ期では約1500社の企業が参加。しかし、参加意識の希薄な企業が7～8割を占めた。第Ⅱ期では、推進組織と連携し会員の参加意識を高めるとともに、クラスター形成の核となる企業の顕在化を図る。

ネットワークの高質化を図るため、単なる勉強会の場でなく、実事業に結びつく可能性の高い、小規模な産学官のグループ形成を行う。

2. 大企業のコミットの獲得

クラスター形成にとって大企業は、「ファーストカスタマー」、「究開発型企業の共同研究相手」として重要な存在。また、各国の活力あるクラスターでは、成長期において、大企業の知財・人財を活用スピンオフベンチャーがクラスターの重要なプレーヤーとなる例も多い。

大企業のコミットを得るための事業を実施するとともに、スピンオフベンチャーへの支援策を検討・実施する。

3. 地域金融機関との連携

産業クラスターサポート金融会議についてはやや形骸化しており、資金面での支援に関する実質的な事業ができていない。ベンチャー支援に前向きな個別金融機関との連携も視野に入れ、資金面の支援事業を実施する。

4. クラスターブランドの向上

産業クラスターは地域のブランド戦略の側面がある。地域のブランドイメージが向上すれば、域外から人、モノ、金が集まる集積が集積を呼ぶ好循環となり、クラスターが自律的发展。他地域の類似のクラスターとの差別化も意識し、クラスター及び有望企業の戦略的広報を積極的に行う。

5. 高度人材の発掘・活用・評価

産業クラスター形成の要は人。事業化まで見据えて、プロデュース、マネージメント、コーディネートできる人材を不断に発掘、評価できる仕組みを検討、実施する。

関西フロントランナープロジェクト事業の方針

1. NWの強化

- ① メールマガジン、ウェブサイト
- ② コミュニケーションフォーラム
- ③ 特定コミュニティ
- ④ 共同企画室

2. 大企業のコミット獲得

- ① 情報家電ビジネスパートナーズ
- ② 技術移転マッチング事業

3. 地域金融機関との連携

- ① 技術評価事業

4. クラスターブランドの向上

- ① 優良企業表彰

5. 人材の発掘・活用

経済産業省の研究開発支援策、事業化支援策、販路開拓支援策、人材育成支援策等様々な施策も活用

関西フロントランナープロジェクト事業の方針

1. NWの高質化

2. 大企業のコミット獲得

3. 地域金融機関との連携

4. クラスタブランドの向上

5. 人材の発掘・活用

① メールマガジン、ウェブサイト
(<http://www.neocluster.jp/cluster/user/page>)

② コミュニケーションフォーラム

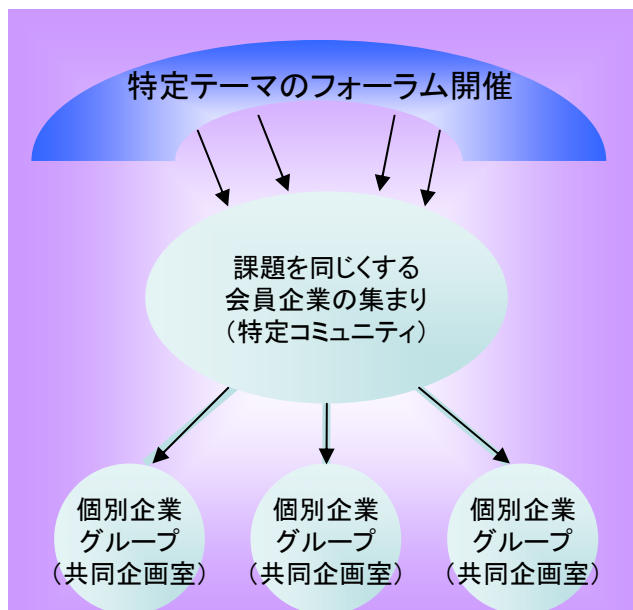
③ 特定コミュニティ

④ 共同企画室

- ・ フォーラム→研究会→作戦会議と3段階で事業化の為の小グループを生み出す仕掛け。

- ・ 特定テーマを設定し「コミュニケーションフォーラム」を開催。興味を持った産学官関係者を集め、自立的な研究会（「特定コミュニティ」）を組成。

- ・ 「特定コミュニティ」が単なる研究会（勉強会）にとどまらないよう、具体的な製品化等を検討する小グループ（「共同企画室」）が生み出されるよう誘導する。



関西フロントランナープロジェクト事業の方針

1. NWの高質化

2. 大企業のコミット獲得

3. 地域金融機関との連携

4. クラスタブランドの向上

5. 人材の発掘・活用

① 情報家電ビジネスパートナーズ

- 大手家電系企業と中小・ベンチャー企業とのマッチングを実施。

② 技術移転マッチング事業

- 豊田中央研究所と連携し、同研究所の保有する知的財産の会員企業への技術移転のためのマッチング会を開催。
- 技術移転件数11件（協議中案件含む）

(株)豊田中央研究所

(トヨタグループや技術協力会社を含む。)(材料分野 バイオ分野 計測分野 等々)

汎用性の高い特許技術(約20テーマ)

特徴① 分かり易いパネル表示

パネル展示を踏まえた参加者による深い質問が可能。

特徴② 全てのテーマ毎に1～2名の説明員を配置

説明員不足に起因する参加者による質問断念を解消

商談開始件数の増加

特徴① 技術移転に向けての親切丁寧な指導

特徴② 会社経営に対する助言サービス

特徴③ 格安なロイヤルティの提示

確度の高い技術移転契約の成立

関西フロントランナープロジェクト事業の方針

1. NWの高質化

2. 大企業のコミット獲得

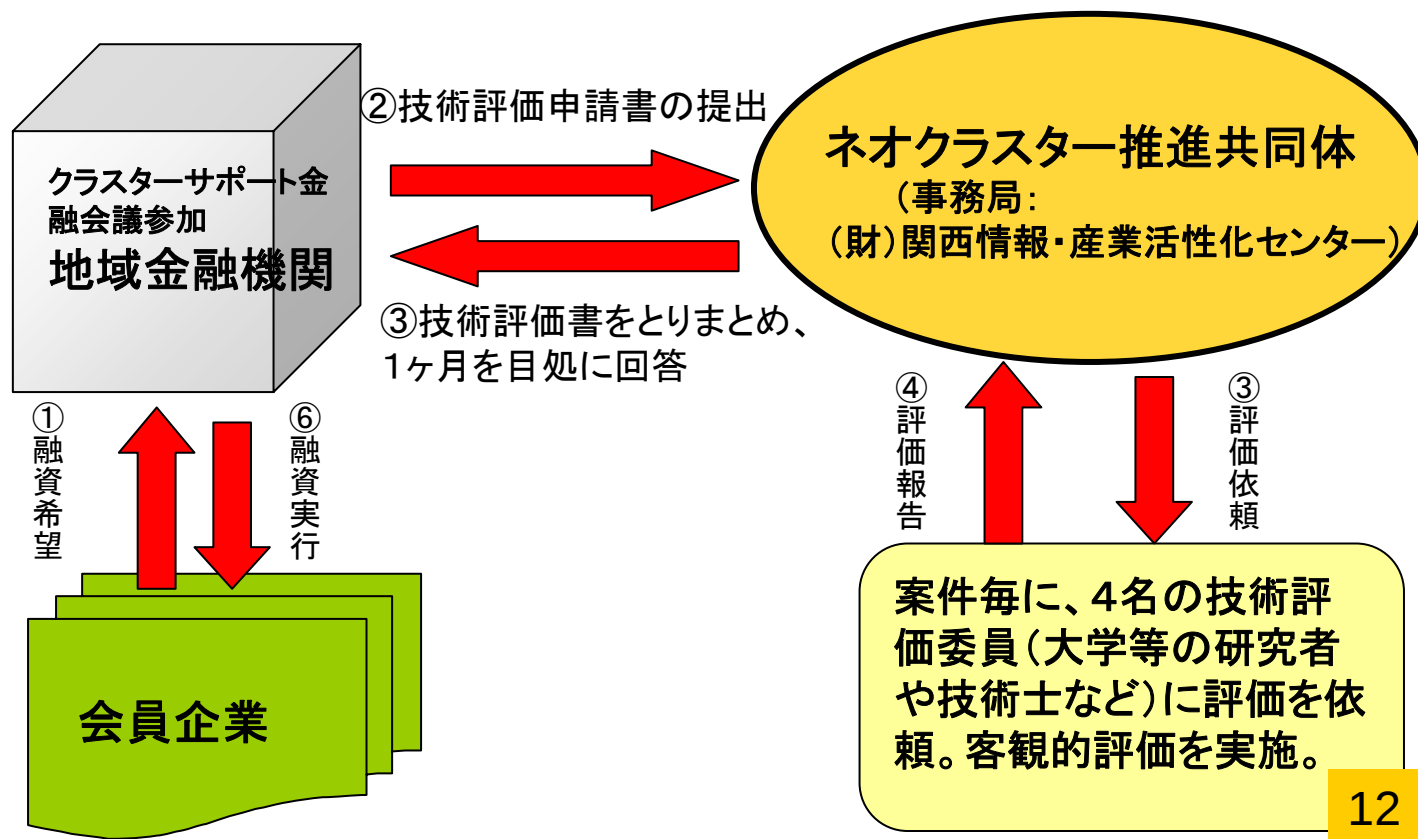
3. 地域金融機関との連携

4. クラスタブランドの向上

5. 人材の発掘・活用

① 技術評価事業

- 金融機関が融資をしようとする会員企業の技術について、専門家の客観的な評価を知ることにより、融資の判断材料として活用。
- 評価書交付9件、融資実行額12億円(審査中案件13件)
- 某信用金庫は本事業と組み込んだ制度融資を検討中。



関西フロントランナープロジェクト事業の方針

1. NWの高質化

2. 大企業のコミット獲得

3. 地域金融機関との連携

4. クラスタブランドの向上

5. 人材の発掘・活用

① 優良企業表彰

- ・ 会員企業が有する技術、商品、サービス等のうち、そのレベルが非常に高く、近い将来大きな飛躍が期待されるものを表彰（奨励）。
- ・ 表彰企業を内外にアピールすることで、当該企業の企業活動向上を図るとともに、他の会員に対しても良い刺激を与える。

■表彰企業選定ステップ

ネオクラスター推進共同体会員のうち、過去1年間のクラスター活動などから特に顕著な将来性が見込める企業を抽出 ⇒ 表彰候補企業

有識者による選考委員会を開催し、採点方式で表彰対象を決定
(5～10社程度)

■表彰企業のメリット

- ・ ホームページ掲載、フォーラム・展示会での発表、受賞プレス発表、冊子・カタログ・新聞広告掲載など、積極的な露出支援により企業名が広くアピールされる
- ・ 技術・経営アドバイス等、業績向上に向けた各種支援を受けられる



さらなる業績の伸びが期待できる

1. 成果の創出

(1) 大企業の取り込み強化

会員企業の約15%が大企業だが、クラスターへのコミットは依然不十分。「アンカー企業」となる大企業が存在しない。大企業が主体的に参加できる事業(DCP、技術移転マッチング会、特定コミュニティ等)を充実させるとともに、スピンオフベンチャーへの支援策を検討。

(2) 国際展開の支援

会員企業の中から積極的に輸出有望案件を開拓し、JETRO等と連携し海外販路開拓を支援。

2. 自律的に発展するクラスターの形成

(1) クラスターに関わる人材の充実

事業化を見据えてクラスター事業を企画、運営、コーディネートできる人材が必要不可欠であるが、そういった人材の発掘・活用が依然不十分。高度な人材を不断に発掘できる仕組み、人材を評価する手法を検討・実施。

(2) プロジェクトの知名度の向上

クラスターの求心力を高めるために、クラスターに参加していることが企業にとってステータスとなるような関西フロンランナープロジェクトの知名度向上、ブランドイメージの構築を図る必要。



Make the Front Runner

近畿地域産業クラスターシンボルマーク

クラスター(房)をイメージし、3つの要素－Neo Cluster、Bio Cluster、Green Clusterの3つのプロジェクトと産・官・学の3つの組織が重なり合って、未来へ発展してゆく様子を表しています。

同時に、プロジェクトの推進によって、クラスターの形成をリードしていけるイノベーターや、国際競争力を持った企業が次々に誕生することを企図して、「Make the Front Runner」というスローガンを掲げています。